授業概要（シラバス）

■科目基本情報　　専門学校日本ホテルスクール

科目番号	GS102	分類	講義科目
授業科目名	異文化コミュニケーション	英文授業科目名	Intercultural Communication
年度	2024年度	年次	夜間部　1年　　ホテル科
開講学期	後期	授業の方法	講義科目
単位数	1単位	年間授業時間数	18.2時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	13コマ
担当教員名	井上　正子　　実務経験なし	備考	
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	国際化の意味を考え、異文化に興味・関心を持つ事、理解する事、受け入れる事、尊重し合う事の大切さを考えます。 また、外国人から見た日本の生活、文化、習慣についても認識し、外客接遇の大切さを考えます。
教科書	『外客接遇の基礎』一般財団法人日本教育センター編

授業計画

回数	内容
1	オリエンテーション：授業の目標（多様性について、SDGとの関連性）
2	第1章　外客接遇とは：訪日外国人の属性・旅行実態・満足度
3	第1章　外客接遇とは：オーバーツーリズム問題（旅行公害）、土産品購入について（免税制度・為替）
4	第3章　世界の言語：主要言語と使用人口・分布　各言語の挨拶
5	第4章　世界の宗教：宗教とは　分布と人口数　主要宗教の概要（仏教）
6	第5章　世界の社会慣習　各国の国民性（エスニックジョークから）／家族観
7	世界のホテル事情：ホテルと旅館（和室・大浴場等）インバウンド対応・イギリス英語とアメリカ英語表現の違い
8	各国の風呂・トイレ事情　温泉・タトゥ問題
9	世界食文化（三大〇〇）／食事作法
10	世界衣装文化（民族衣装・婚礼衣装・和装）
11	第8章　日本のアイデンティティ（インバウンド対応）予約サイト・決済方法（チップとサービス料）
12	日本の観光資源（世界遺産と人気の観光地）
13	まとめ/試験

授業の進め方	パワーポイントを中心に所々テキストを使用し、テキストには無い項目にはプリント資料を配布します。 項目毎にワークシートを配布し授業で記入しながら進めます。
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	国際情勢1
参考書	
学生へのメッセージ	ビジネスの世界規模化が普遍となり、インバウンドマーケットが急激に成長するなか、コミュニケーションを図る方法が多様化しています。 その一方で日本基準、これまでの当たり前では対応できない世の中になっているのも事実です、多種多様な考え、生活様式、価値観に興味をもって欲しいです。

以上